



2009～2010年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2009～2010年度
国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に
国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

John Kenny

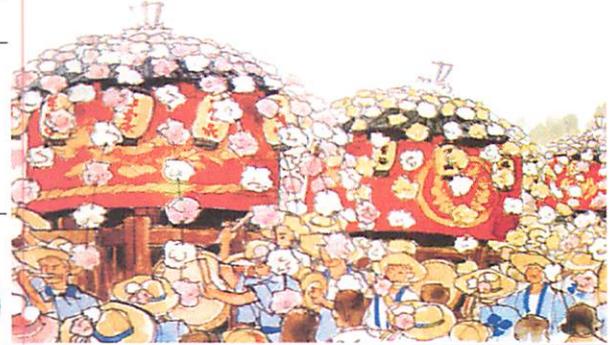
国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 江淵一秀 幹事 小野嘉之 クラブ広報委員長 岩淵正芳

例会日時：毎週木曜日 12:30～13:30
例会場：グランプラザ中津ホテル TEL：0979-24-7111
事務局：〒871-0025
大分県 中津市 殿町1383-1 中津商工会議所2F
TEL：0979-22-9716 FAX：0979-22-9722
メールアドレス：office@n-heisei.org

ホームページ：<http://www.n-heisei.org>

第965回例会 平成22年 1月28日(木)



本日の例会プログラム ゲスト卓話「建物のセキュリティ・カギの話」
美和ロック(株) 九州支店 課長 徳永啓文氏
◎次回例会プログラム ゲスト卓話「アースディについて」
アースディ実行委員 代表 須賀要子氏

前回(第964回例会)の記録

平成22年 1月 21日(木) 12:30～

■ビジター
なし

■出席報告	
会員数	25名
免除者数	0名
対象者数	25名
本日出席者	21名
欠席者数	4名
出席率	84.00%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者	4名
メイクアップ	2名
欠席者	2名
修正出席率	84.00% → 92.00%

●メイクアップ
岡野(中津中央)
岩淵(中津)

●欠席者
向笠・小路

◎ロータリーソング それでこそロータリー

◎会長の時間 会長 江淵一秀



別府市光町で、今月13日、23棟の火災が発生し、昨日の新聞に、後片付けをしている写真が載っていました。かなり広い空き地が出来たように、見えました。この寒空で、焼きだされた人達は、大変な生活を強(し)いられていることと思います。

外国では、ハイチで地震があり、一日違いで大惨事が2件も続けて起きました。向こうでは、食料・水・医者等が、不足しており、日本のように、冬がないだけ、寒くはないにしても、避難場所もない有様で、野宿をしているようです。暴動も起きています。早く救助が行き届けば良いのですが

1月は、ロータリー理解推進月間ですので、こういう時に、広報活動が出来ないものかと思われ

ます。私も、推進月間とは、と思い、久しぶりに「ロータリーの友」の冊子に、目が行きました。その中に、青森の二ツ井RCの紹介がありまして小さなクラブで9人しかいないようですが、それでも出席率は極めて悪いこと。「出席なくして親睦なし、親睦なくして奉仕なし」と、言葉を上げていました。それでも、改善されないことを言われていました。これを見て、我がクラブも、最近ホームクラブの欠席者が多くなり、出席率が悪いと思います。

メイキャップをして、出席率が向上するよう皆で努めましょう。

◎幹事報告

●例会報告
湯布院RC 杵築RC 豊前RC 豊前西RC

●週報受理
竹田RC 豊後高田RC

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」 "ROTARY'S CHANGE IS IN YOUR HAND"



2009～2010年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



ロータリーの未来は
あなたの手に

●報告事項

- ・中津市制80周年記念
「第29回人権を守る市民の集い」のお礼
「人権研修会・学習会」の申し込みについて
- ・中津RCより2月度プログラム届く
- ・日本RC認証順位一覧冊子届く

●理事会報告

- ・本日理事会を開催します。
- ・半期決算報告をします。

◎委員会報告

江淵会長

辛嶋会員に木下ガバナーエレクトより、国際ロータリー2720地区、2010～2011年度の地区管理運営委員長の委嘱状が届いています。

◎ニコニコボックス

奉仕プロジェクト委員会 国際奉仕担当

○江淵会長

辛嶋会員、次年度地区委員長、1年間宜しくお願ひします。

○梶原会員

本日、ロータリー財団の卓話をしますのでよろしくお願ひします。

○辛嶋会員

木下ガバナーエレクトより地区の管理運営委員長に任命されました。御協力をよろしくお願ひします。

○加来会員

梶原会員の卓話のお手伝いをさせていただきましたのでニコニコします。

○矢頭会員

家族で穏やかなお正月を迎えることができました。

○永松会員

ニコニコをたくさんいただきました。辛嶋会員地区管理運営委員長、御苦労様です。

◎会員卓話

「ロータリー財団について」

ロータリー財団委員会 梶原清二委員長

●ロータリー財団の父 アーチ・クラフ

ロータリー財団の父と呼ばれるのは6人目のRI会長、アーチ・クラフです。「ロータリーが基金をつくり、全世界的規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と国際大会で提案しました。数ヶ月後に、この新しく誕生した基金は米貨26ドル50セントの最初の寄付金から始まりました。基金がやがてロータリー財団に発展していく、その過程の出来事です。」「われわれはこの財団を今日明日の時点ではなく何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜならロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです。」「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ、大理石に碑銘をきざんだとしても、やがては崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中に碑銘をきざむならば、そして、ロータリー精神と神をおそれ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、われわれがきざんだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう。」

●ロータリー財団プログラム

○教育プログラム

ロータリー財団は、教育プログラムを通じて、学生や教育者、事業や専門職従事者に異国の文化を体験してもらい、海外の友人たちと長年にわたる人間関係を培う機会を与えることによって、国際理解を推進しています。

○人道的補助プログラム

人道的補助金は人道的プロジェクトを実施する目的でロータリー・クラブおよび地区に提供されるものです。奉仕のニーズや資金の選択肢により、マッチング・グラント、地区補助金、保健、飢餓追放および人間性尊重(3-11)補助金、ボランティア奉仕活動補助金を受けることができます。

○ポリオ・プラス

国際ロータリーと財団が一体となって取り組むプログラム、ポリオ・プラスは、ポリオの撲滅を目標としておりロータリーで最も有名なプログラムです。100万人以上の世界中のロータリアンがポリオ・プラスに米貨6億5,000万ドル以上の寄付を行ってきました。さらに、ロータリアンは診療所を支援し、予防接種のために地域社会を動員し、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、地元レベルにおけるボランティアのネットワークとして奉仕しています。

○財団学友

1947年以来、90,000人以上の人々がロータリー財団のプログラムによる奨学金や補助金を受領してきました。地域の財団プログラム元参加者はロータリー財団の力強い賛同者となり、ロータリー財団への寄付者となる可能性もあるため、学友との連絡を維持することが大切です。

●ロータリアンからロータリー財団への寄付

ロータリー財団プログラムの財源は、世界中のロータリアンからの任意の寄付によって支えられてきました。ロータリアンは教育、異文化交流、人道的プロジェクトにおける類まれな結果を目にしたとき、より良い世界をつくるためには、ロータリー財団への財政的な支援が不可欠である理由を理解します。

○年次プログラム基金—今日を支援するために

年次プログラム基金は、ロータリー財団のプログラムの主な資金源です。年次プログラム基金の資金は、毎年、研究グループ交換、国際親善奨学金、地区補助金、マッチング・グラントなどの財団プログラムに使用されます

○恒久基金—確かな明日のために

恒久基金は、収益を財団プログラムの支援に充てることのできるロータリー財団です。原則として、この元金は永久に使用されることがなく、その収益の一部が財団プログラムのために利用されます。恒久基金へは、大口寄付、証券、遺贈、終身年金契約などで寄付することができます。多くのロータリアンは多額の寄付を恒久基金に寄せています。財団へ大口寄付を行うことができる会員をご存知の方は、地域の大口寄付アドバイザーまたはロータリー財団地域コーディネーターまでご連絡ください

○ポリオ・プラス基金

ロータリアンは現在も、ポリオ・プラス基金を通じてポリオ撲滅の支援のため寄付を行うことができます。この基金を通じて支給される補助金は、全国予防接種日や監視活動のために役立てられます。ロータリー地区また、地区財団活動資金をポリオ・プラス基金に分配することもできます。

○シェアおよび地区財団活動資金(DDF)

シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は国際親善奨学金、マッチング・グラント、研究グループ交換、その他の財団プログラムの奨学金や活動に姿を変えています。シェアを通じて、財団プログラムに関する決定手続きに世界中のロータリアンが関与することになります。寄付金をどのように使用するかを決定する自由を寄付者に与えている財団は、ロータリー財団だけです。



「ロータリーの未来はあなたの手に」

“ROTARY’S CHANGE IS IN YOUR HAND”